朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

（令和4年度事業評価）

令和5年7月31日（検証実施）

朝日町

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シートについて

基本目標○　○○まちづくり

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる基本目標です。

（○）○○　※施策名

１）施策の方向

基本目標の実現に向けた施策名を示すとともに、施策の方向性を記載しています。

（朝日町人口ビジョン　朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和3年3月）P24～）

※施策達成に向けた「主な取り組み」について、当該年度の効果検証シートを作成しています。

令和4年度　効果検証シート

２）主な取り組み

○	朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略における主な取り組みを記載しています。	所管課	主な取り組みにおける所管課を記載しています。
■令和4年度の進展度		※1　下記の取り組み概要及び目標指標の達成状況を踏まえA～Dの4段階で評価しています。	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
令和4年度の取り組み内容を具体的に明記するとともに、取り組みの成果と残った課題や、環境変化に伴い発生している新たな課題を記載しています。			
■令和5年度の取り組み方向			
上記の成果と残された課題を踏まえて、令和5年度の取り組み方向が記載されています。			

※1■令和4年度の進展度　（A～Dで評価）

A：十分進んだ（100%）

B：ある程度進んだ（70%以上100%未満）

C：あまり進まなかった（40%以上70%未満）

D：進まなかった（40%未満）

３）重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略における重要業績評価指標を記載しています。	令和元年度の基準値	目標値	令和3年度の目標値	令和4年度の目標値	令和5年度の目標値		令和7年度の目標値
		実績値	令和3年度の実績値	令和4年度の実績値			

※現時点で、当該年度の現状値の把握が困難な指標については、把握可能な最新年度の数値が記載されています。最新年度を用いた場合は、「例：（H30）または（R1）等」と併記されています。なお、これに関連する目標値も同様に、評価に用いる対象年度を「例：（R1）等」と併記されています。

基本目標と現状値について

基本目標1　子どもを産み・育てやすいまちづくり

■基本目標1の数値目標

目標指標	基準値（平成30年）	現状値（令和3年）	目標値（令和7年）
合計特殊出生率	1.81	1.42	1.88

■基本目標1の施策の展開（P3～12）
（1）妊娠・出産・子育てまで途切れのない支援
（2）仕事と子育ての両立支援
（3）次代を育てる教育環境の充実

基本目標2　活力ある働きやすいまちづくり

■基本目標2の数値目標

目標指標	基準値（令和元年度）	現状値（令和3年度）	目標値（令和6年度）
事業所数	317事業所	308事業所	現状維持以上

※基準値は経済センサス基礎調査より
※現状値は経済センサス活動調査確報値より

■基本目標2の施策の展開（P13～17）
（1）企業誘致の推進と雇用対策の推進
（2）商工業の振興
（3）農業の振興

基本目標3　人が集う魅力あるまちづくり

■基本目標3の数値目標

目標指標	基準値（令和元年度）	現状値（令和4年度）	目標値（令和7年度）
あさひ竹プロジェクト関係イベントへの参加者数	―	224人	400人

■基本目標3の施策の展開（P18～23）
（1）適切な土地利用と良好な景観形成の推進
（2）観光交流資源の創出と情報発信
（3）歴史・文化の継承と活用

基本目標4　安心してずっと暮らせるまちづくり

■基本目標4の数値目標

目標指標	基準値（令和元年度）	現状値（令和4年度）	目標値（令和7年度）
町に住み続けたいと思う町民の割合	91%	―	92%

※基準値は第6次朝日町総合計画町民アンケート調査結果より

■基本目標4の施策の展開（P24～36）
（1）誰もがいきいきと暮らせる環境づくり
（2）協働のまちづくりの推進とコミュニティの育成
（3）安全・安心な地域づくり
（4）持続可能な行財政運営

基本目標1　子どもを産み・育てやすいまちづくり

（１）妊娠・出産・子育てまで途切れのない支援

１）施策の方向

妊娠・出産・子育ての希望をかなえるためには、長期的な視点に立って少子化対策を進める観点から、妊娠・出産・子育ての各段階に応じた、きめ細やかで途切れのない対応が求められています。

朝日町子ども・子育て支援事業計画に基づき、子ども・子育て家庭を社会全体で支援するために、子育て支援の環境や体制の充実を図るとともに、あさひ園を拠点とした保育サービス、子育て支援センターによる育児支援・相談・情報提供など、多種多様な価値観があるなか、地域ぐるみで子育てについて考え、一緒に子どもたちの成長を見守ることができる環境づくりに取り組みます。

また、子育て世代包括支援センターを拠点として、妊娠・出産・育児期における各種健康診査や相談・情報提供などの母子保健に取り組み、妊娠から育児までの様々な場面と途切れのない母子保健対策の充実を推進します。

さらに、特別な支援を必要する子どもたちが年々増えていることから、保健・医療・福祉・教育等の関係機関と連携し、療育体制の充実を図ります。

令和4年度　効果検証シート

２）主な取り組み

①	保育サービス等の充実	所管課	あさひ園
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・「保幼小中育ちのリレー事業」を通じて、園児・児童・生徒の交流や教職員の交流が計画どおり実施できており、途切れなく子どもたちの健やかな成長を支援できました。			
■令和5年度の取り組み方向			
・子どもたちの健やかな成長を支援するため、園、小学校、中学校が１校ずつあることの強みを活かした事業を実施します。			

②	地域ぐるみの子育て環境整備の推進	所管課	子育て健康課、あさひ園
■令和4年度の進展度		A	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

＜子育て健康課＞

・保健福祉センターにて育児相談を実施しました。希望者だけでなく、健診等で育児不安がある方や悩みのある方の参加も勧めています。

・7、8か月児相談や離乳食教室等にて、母子同士の交流ができる時間を設けました。

＜あさひ園＞

・子育て支援センター事業を地区公民館と保健福祉センターを会場に毎日開催できており、地域の子育て支援の受け皿としての活動ができました。しかし、コロナ禍で会場の利用人数制限や地区指定を行い活動してきており、誰もが参加しやすい環境を設けることができなかったことが課題となりました。

・男性の育児参加を促すため、新たに「パパweek」を９月に６日間開催し好評を得ることができました。

■令和5年度の取り組み方向

＜子育て健康課＞

・教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制その他業務の円滑な実施に取り組む施策として現行の第2期朝日町子ども・子育て支援事業計画は令和6年度までの計画ですが、第3期の計画策定に向けて、今年度はアンケート調査を予定しております。

※【実施計画】子ども・子育て支援事業計画策定事業

・引き続き、保健福祉センターにて育児相談を実施していきます。希望者だけでなく、健診等で育児不安がある方や悩みのある方の参加も勧めていきます。

・7、8か月児相談や離乳食教室等にて、母子同士の交流ができる時間を設けていきます。

＜あさひ園＞

・あさひ園と子育て支援センターという限られた資源の中で、可能な限りの子育て支援の受け皿を維持し、事業を実施します。また、コロナ後の感染状況を把握し、希望する誰もが参加できる環境を整え事業を実施します。

③	母子保健対策の充実	所管課	子育て健康課
■令和4年度の進展度		B	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

・妊娠期から各時期に合わせた教室健診・相談等を実施し、途切れのない支援を行いました。また、乳幼児健診を行い、乳幼児期の身体発育及び精神発達発達を確認し、必要に応じた指導を行いました。

・少子化対策の一環として特定不妊治療費・不育治療費助成事業により、費用の一部を助成することによって経済的負担の軽減を図りました。

・子ども医療費助成事業については計画どおり事業を遂行でき、子育て世帯の経済的な負担軽減を図ることができました（実績額57,955千円）。また、近隣市町で対象年齢拡大等のより充実したサービスを実施しているため今後の検討課題となっています。

※【実施計画】子ども医療費助成事業

■令和5年度の取り組み方向

・妊娠期から各時期に合わせた教室健診・相談等を実施し、途切れのない支援を行っていきます。また、乳幼児健診を行い、乳幼児期の身体発育及び精神発達を確認し、必要に応じた指導を行います。

・特定不妊治療費は保険適用になりましたが、引き続き少子化対策の一環として不育治療費助成事業により、費用の一部を助成することによって経済的負担の軽減を図ります。

・引き続き、子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、医療費助成事業を実施します。また、近隣市町の動向を注視しながら事業継続に取り組みます。

※【実施計画】子ども医療費助成事業

④	子どもの発達支援の推進	所管課	子育て健康課、あさひ園
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
＜子育て健康課＞ ・専門職（言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士）の個別相談で、言語指導、発達検査等の相談・助言を予約制で120回実施しました。 ・専門職（特別支援教育士・社会福祉士）の園・学校への巡回相談、作業療法を19回実施しました。 ※【実施計画】子どもの発達支援事業 ・みえ発達障がい支援システムアドバイザーの取り組みとしては、発達障がいに関すること、発達障がいに関する普及啓発をし、発達支援の推進に努めました。また、発達障がいに関する児童の保護者相談や不登校児童の相談を受け、園学校へ繋ぎました（学校への児童観察、支援方法の提案）。 ・町の発達障がいに関しての途切れのない支援体制構築のための研修発表を実施しました。 ＜あさひ園＞ ・子どもの発達支援を専門とするNPO法人と連携するとともに、子どもたちの途切れのない支援を行うため職員研修を実施し、保育士の質の向上と子ども個々に応じた支援を行う取組みができました。			
■令和5年度の取り組み方向			
＜子育て健康課＞ ・引き続き、特別な支援を必要とする子どもの早期発見に努め、専門職（言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士・特別支援教育士・社会福祉士）による相談・指導等を実施します。 ・引き続き、今年度も、発達障がいに関する普及啓発活動を行います。思春時期の児童の発達の課題や不登校児童について研修等を通して、専門性や技術力向上を図ります。 ※【実施計画】子どもの発達支援事業 ＜あさひ園＞ ・子どもの発達支援を専門とするNPO法人等の外部機関と連携し、保育士の質の向上のための学習機会を確保します。			

⑤	様々な子育て家庭に対する支援の充実	所管課	子育て健康課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・ひとり親家庭の子ども、障がい児を対象として、医療機関にかかったとき、保険適用分のうち自己負担分（額）を後日助成しました。 ・コロナ禍におけるエネルギー・食料品等の物価高騰対策支援として、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金を国及び県と連携して円滑に支給しました（対象世帯24世帯、対象児童39人に一人5万円、合計195万円）。 ・虐待・DV・若年妊婦等の支援が必要な子ども、妊婦及び家庭については関係機関（あさひ園や小中学校、教育課、児童相談所、福祉事務所等）と情報共有、相談支援を図りながら支援しました。			
■令和5年度の取り組み方向			
・医療費の助成については対象世帯の経済的な負担軽減を図るため実施するとともに、近隣市町の動向を注視しながら事業継続に取り組みます。 ・昨年同様に、令和5年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業に取り組んでいきます。 ・引き続き、虐待・DV・若年妊婦等の支援が必要な子ども、妊婦及び家庭については関係機関（あさひ園や小中学校、教育課、児童相談所、福祉事務所等）と情報共有、相談支援を図りながら支援します。			

3）重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
子育て支援センター利用者数	20人/日	目標値	→	→	→	→	全希望者
		実績値	10人/日（全希望者）	12人/日（全希望者）			
赤ちゃん訪問率	100%	目標値	→	→	→	→	維持
		実績値	91.2%	100.0%			
1歳6ヶ月児健診受診率	100%	目標値	→	→	→	→	維持
		実績値	98.2%	99.1%			
3歳6ヶ月児健診受診率	100%	目標値	→	→	→	→	維持
		実績値	99.1%	97.5%			

基本目標1　子どもを産み・育てやすいまちづくり

（2）仕事と子育ての両立支援

1）施策の方向

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を図り、採用・配置・育成などあらゆる側面において男女間の格差の是正や、仕事と家庭が両立できる「働き方」を実現し、子育て環境の改善が求められています。

朝日町子ども・子育て支援事業計画に基づき、子ども・子育て家庭を社会全体で支援するために、子育て支援の環境や体制の充実、子育てと仕事の両立支援を推進します。

また、近年、放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）に対する町民ニーズが高まっており、保護者が安心して就労し、かつ児童の健全育成を促進するため、放課後児童クラブの更なる充実を図ります。

令和4年度　効果検証シート

2）主な取り組み

①	保育サービス等の充実	所管課	あさひ園、子育て健康課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
＜あさひ園＞ ・保護者の就労時間に応じ早朝保育、延長保育の受入れや、支援が必要な園児に対し加配保育士の配置ができました。 ・医療的ケア児の受入れにあたり、関係機関と連携しガイドラインの策定や保育士の喀痰吸引研修など事前準備を実施し、次年度の受入れに向けた体制整備ができました。 ・保育室を増築し環境整備を行ったことで待機児童ゼロの目標を達成することができました。 ＜子育て健康課＞ ・病児保育を行っている保育所の案内を窓口に設置、必要な方に配布を行いました。また、朝日町内で事業受入可能な医療機関がないため、桑名市及び近隣市町と連携し引き続き事業が継続できるように取り組みました。			
■令和5年度の取り組み方向			
＜あさひ園＞ ・多様化する保育ニーズの把握に努め、安全安心な保育所運営を行うため、保育士の確保や環境整備を実施します。 ・使用済紙おむつの回収については、保護者からの要望や国からの事務連絡を受け、保育所にて回収する方向で検討を進めます。 ＜子育て健康課＞ ・近隣市町と連携し引き続き、病児保育事業が継続できるように努めます。			

②	地域ぐるみの子育て環境整備の推進	所管課	子育て健康課
■令和4年度の進展度		A	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

・朝日町児童館は、18歳未満の子どもたちへ遊びを通じて健やかな成長を図り、その健康を増進し、情操を豊かにする事を目的に各種事業（子ども遊び館、児童館まつり、子育て支援事業）を実施しました（利用者数17,505人）。

・放課後児童クラブは現在5か所で運営しており、事業者へ運営補助として補助金を交付しました（利用者数200人・利用希望者全員が利用）。

・放課後児童クラブの利用者は毎年増加し続けており、町として待機児童が出ないように事業者とは情報共有を徹底し、学童保育スペース確保の工夫も併せて要請しました。来年度以降も利用者の増加が見込まれ、引き続き待機児童が出ないように事業者との調整が必要です。

※【実施計画】学童保育所運営補助事業

■令和5年度の取り組み方向

・引き続き、子どもたちの健全な育成を図るため、朝日町児童館にて各種事業（子ども遊び館、児童館まつり、子育て支援事業）を実施します。

・子どもたちの居場所づくりのため、引き続き放課後児童クラブの事業者へ運営補助を実施するともに、待機児童が出ないように事業者と調整を行います。また、放課後児童クラブは2か所増の7か所運営となり、国の基準である１支援あたり４０名前後で保育可能となり安全かつ余裕をもって事業を実施していきます。

※【実施計画】学童保育所運営補助事業

３）重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
保育所入所待機児童数	0人	目標値	→	→	→	→	0人
		実績値	0人	0人			
放課後児童クラブ利用者数	175人	目標値	→	→	→	→	全希望者
		実績値	176人（全希望者）	200人（全希望者）			
児童館利用者数	17,466人	目標値	14,500人	16,500人	17,000人		18,000人
		実績値	16,251人	17,505人			

基本目標1　子どもを産み・育てやすいまちづくり

（3）次代を育てる教育環境の充実

1）施策の方向

子どもたち自身が生き抜く力を養うとともに、町の将来を担い継承し、かつ持続的発展が可能なまちづくりを推進するためには、人材育成は極めて重要なことです。子どもたちの育成に当たっては、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育み、知・徳・体のバランスの取れた人材育成が必要であり、このための教育環境の充実に努める必要があります。

小学校、中学校の学校教育において、ICT機器の活用、教材や学習内容の充実などにより、一層の学力向上に向けた取り組みを推進するとともに、郷土の自然や歴史・文化などの郷土教育を通じて「ふるさと朝日」に対する愛着を育み、かつ子どもたちの豊かな心の育成のための道徳教育の充実を図ります。また、子どもたちの健全な心身を養うために、栄養バランスに配慮した学校給食や基礎的な食習慣を促すとともに、魅力的な体育授業を取り入れるなどして、子どもたちの健康増進に努めます。

さらに、子どもたちを取り巻く教育環境が複雑・多様化する中で、学校・家庭・地域の関係者が目標・課題を共有し、地域全体で子どもたちの豊かな育ちを図ります。

令和4年度　効果検証シート

2）主な取り組み

①	確かな学力の育成	所管課	あさひ園、教育課
■令和4年度の進展度		B	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

＜あさひ園＞

・カリキュラムテーマを「言葉」と「人間関係」、「食育」として取り組みを進めました。この取り組みに対し、学校関係者評価として、「クラス内で子ども自身が園生活で困っていることなどに対し、個々に寄り添い、少しずつ達成感や楽しさを味わうことができるよう支援を行っている。」と評価を受けた一方で、心の育ちや人権学習を意識した取り組みが今後の課題となっています。

＜教育課＞

・確かな学力を育成するため、基礎学力充実講師（小学校5人・中学校4人）やＡＬＴ（小中学校にそれぞれ1人）を配置するとともに、小学校に理科支援員（1人）及び外国語活動指導員（1人）を配置しました。

・児童生徒の主体的な学びを推進するため、全ての教員（常勤・非常勤講師ともに）が授業力の向上をめざし、年１回以上、指導主事を招へいした研究授業を実施し、指導力の向上・授業改善を図りました。加えて、１人１台端末の学習における効果的な活用について研修を進めた結果、全国学力学習状況調査において、小中学校ともに平均正答率が全国平均を大きく上回りました（小学校：国語（+7.3pt）算数（+6.8pt）理科（+9.7pt）中学校：国語（+6.4pt）数学（+10.8pt）理科（+6.7pt））。

・パソコン端末持ち帰りのためのセキュリティ対策、サーバー設置及びACアダプター・ケースを整備し、9月よりパソコン端末の持ち帰りを実施しました。そのため、パソコン端末の家庭での活用の推進が今後の課題となっています。

※【実施計画】小中学校務用ネットワーク分離のためのサーバー構築業務委託事業

■令和5年度の取り組み方向

＜あさひ園＞

・異年齢交流など園内での縦のつながりを意識した取り組みを通じて、人権意識や心の育ちを向上させる活動に取り組みます。

・学校関係者評価などの客観的な評価を取り入れ、実践、評価、改善のサイクルをとおして学力の育成に取り組みます。

＜教育課＞

・確かな学力を育成するため、基礎学力充実講師やALT等を配置します。

・授業力を向上できるよう、全ての教員が指導主事を招へいした研究授業を実施します。

・家庭での学習習慣を定着させるとともに、主体的に家庭学習に取り組むことができるよう、パソコン端末の効果的な活用を推進します。

②	豊かな心の育成	所管課	教育課
■令和4年度の進展度		B	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

・児童生徒の「できた」「分かった」等の達成感を味わうことができるよう、一人ひとりの実態を把握し、全ての教育活動において取り組みを進めました。
・小学校５年生で、農業体験を実施しました。また、小学校社会科において、地元で働く人々や朝日町の歴史など、地域を題材にした教材を使った授業を実施するとともに、副読本「わたしたちの朝日町」を活用しました。
・発達段階に応じた豊かな人権感覚を系統的に育むため、中学校区人権教育推進計画及び人権教育カリキュラムを作成しました。
・中学校では、学校だより「朝風」を通じて、「心づくり」等をキーワードに、「人間力」の大切さについて、生徒・保護者に啓発しました。

■令和5年度の取り組み方向

・引き続き、児童生徒の豊かな心の育成のため、一人ひとりを大切にした教育活動を継続していきます。
・今年度作成した中学校区人権教育推進計画・人権教育カリキュラムを活用した、人権教育を実践します。また、小中間で成果・課題を共有することで、中学校区人権教育推進計画・人権教育カリキュラムのブラッシュアップを図ります。
・引き続き、学校だより「朝風」を通じて、「人間力」を育むために必要な「共感力」等について、生徒・保護者に啓発していきます。

③	健やかな体の育成と食育・健康教育の充実	所管課	教育課
■令和4年度の進展度		C	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

・魅力ある体育授業づくりや５分間運動など授業の初めに主運動につながる運動を取り入れる等により、子どもたちが運動の楽しさや喜びを感じることを通して子どもたちの体力向上をめざしました。
・小学５年生、中学２年生の体力・運動能力を測る全８種目の合計点は、前回調査と比較して、小学校女子と中学校男子は上昇、小学校男子と中学校女子は低下していましたが、いずれも大きな変化ではありませんでした。また、肥満割合においては、中学校女子を除いて、全国の傾向と同様に増加しました。コロナ禍により運動量と食生活のバランスが崩れたことがその要因ではないかと推察しています。
・部活動の充実を図るため、部活動指導協力員を1人配置しました。部活動については、令和5年度からの休日部活動の段階的な地域移行が進められるよう、準備を進める必要があります。
・全国学力・学習状況調査の児童・生徒質問紙における基本的な生活習慣を問う質問で、基本的な生活習慣は県との比較では良好な結果となっていました。
・学校給食において、シイタケなどの地元食材を活用するとともに、その生産過程について学ぶなどの食育を実施しました。また、小学校低学年において、野菜栽培や給食食材の下処理などの体験学習を実施しました。

■令和5年度の取り組み方向

・児童生徒の体力向上を図るため、魅力ある体育授業づくりを継続していきます。
・家庭との連携を図り、基本的な生活習慣の維持向上を図ります。
・生涯学習課等と連携し、休日部活動の段階的な地域移行を実施します。

④	地域とともにある学校づくり	所管課	あさひ園、教育課
■令和4年度の進展度		B	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

＜あさひ園＞

・園児は、老人クラブの方々と紙飛行機づくりなど昔ながらの遊びやいも苗植えを通じて交流をすることができました。

・保護者の皆さんは、園児が発表会で使用する制作物を地域の方に教わりながら一緒に作り交流することができました。

＜教育課＞

・小中学校ともに、コミュニティスクール（学校運営協議会）を小学校で３回、中学校で２回開催し、学校運営の成果や課題等について共有するとともに、地域とともにある学校づくりについて意見交換をしました。

・朝日町文化祭に、朝日中学校ブラスバンド部が出演するなど、地域との交流を図りました。

■令和5年度の取り組み方向

＜あさひ園＞

・地域の方々との関わりを通じて言葉遣いなど道徳性を養う取り組みを行います。

＜教育課＞

・コミュニティスクール等を活用し、「学校から地域への積極的な情報提供」「学校と地域との協力体制の充実」「学校の活性化」等の取組を丁寧に継続していくことで、「家庭・地域教育力の向上」「地域の活性化」といった成果につなげられるよう、地域とともにある学校づくりを推進します。

⑤	図書館の充実	所管課	文化課
■令和4年度の進展度		A	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

・引き続き、感染症対策を行いながらの運営となりましたが、貸出者数13,622人、貸出冊数72,670冊でした。また、読書環境の整備として、図書1,217冊を購入しました。

・汚損や劣化が酷い絵本172冊を買替ました。

・子どもから大人まで幅広い年齢層に図書館を利用してもらう為、乳幼児向けのイベントや成人向けの教室、朗読会を実施しました。

・図書館資料の活用に繋げるため、夏休みサポートコーナーとして自由研究や読書感想文の参考になる本を書架から集めてテーマごとに展示を行いました。

※【実施計画】子どもの読書活動支援事業

・親子で参加できるイベントとして「聞かせ屋。けいたろう 絵本ライブ」を開催しました（参加者数36人）。

・開館25周年記念イベントとして絵本作家によるワークショップを開催しました（参加者数48人）。

■令和5年度の取り組み方向

・子ども向け及び成人向けの事業を実施し、図書館の利用促進に努めます。

・読書週間連携事業として、蔵書資料を活用した展示や関連イベントを実施します。

・屋外やエントランスを活用した空間作りとして、図書館未利用者の利用促進に繋がる事業の実施を検討します。

⑥	青少年活動の促進	所管課	生涯学習課
■令和4年度の進展度		B	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

・「令和5年二十歳のつどい(旧称：朝日町成人式)」を令和5年1月8日に開催しました。134名（内町外13名）が参加しました。
・朝日町青少年育成町民会議として、夏休み補導活動２回、園小中への物品購入補助、あさひ子ども110番の家啓発活動を行いました。これまで主な活動場所であったサマーフェスタの見直しが決定したことから、代替の活動内容を検討する必要があります。
・子ども会については、感染症対策を考慮した代替行事を実施しました。コロナ禍以前ほど参加者が集まらない状況が見られ、事業の開催について、規模や内容を見直す必要があります。
・放課後子ども教室は新型コロナウイルス感染症の影響により小学1年生のみ対象に年間10回開催と縮小しておりましたが、令和4年度よりコロナ禍前に戻し小学2年生まで対象としました。対象学年を拡大してほしいとの要望があるため検討していく必要があります。

■令和5年度の取り組み方向

・成人を祝う式典については、民法改正により令和4年4月から成年年齢が18歳となりましたが、朝日町では今後も年度内20歳を迎えられる方を対象に式典を開催します。
・朝日町青少年育成町民会議についてはサマーフェスタでの啓発活動に代わる活動を検討します。その他、夏休み補導活動・園小中への物品購入補助・あさひ子ども110番の家啓発活動は引き続き行います。
・子ども会については、できる限りコロナ禍前の行事数を行えるよう、規模や内容を見直しつつ活動していきます。
・放課後子ども教室は、対象者を小学3年生まで拡大し、募集定員を増やす方法を検討していきます。申込方法については働いている保護者の方でも申込しやすい方法を引き続き実施していきます。さらには地域学校協働活動推進員の設置や地域住民を交えた教室の開催を検討していきます。

３）重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
全国学力状況調査の標準化得点（平均を100としたもの）の全国との比較	小6 103.0 中3 103.5	目標値	小6 103.5 中3 104.0	小6 103.5 中3 104.0	小6 103.5 中3 104.0		小6 105.0 中3 105.0
		実績値	小6 103.0 中3 103.5	小6 103.0 中3 103.5			
体力テストの総合評価が「A」・「B」・「C」の子どもたちの割合（各学年男女平均）	小5 78.2% 中2 79.8%	目標値	小5 80.0 中2 80.0	小5 80.0 中2 80.0	小5 80.0 中2 80.0		小5 85.0 中2 85.0
		実績値	小5 69.3 中2 79.5	小5 70.8 中2 76.4			
コミュニティ・スクールの設置	未設置	目標値	設置済	－	－		設置済
		実績値	設置済	－			
放課後子ども教室年間平均参加者数	19人	目標値	→	→	→	→	現状維持以上
		実績値	14人	42人			

基本目標２　活力ある働きやすいまちづくり

（１）企業誘致の推進と雇用対策の推進

１）施策の方向

地域活力の維持と発展のためには、働き場の確保は極めて重要なことです。そのためには、時代の変化に対応した企業の育成や新たな企業誘致を図り、雇用機会の拡大や働きやすい環境づくりが必要です。

本町の広域交通に恵まれた立地特性を生かし、町内の工業等振興ゾーンや未利用地への新規企業の立地を促進します。

また、新たな企業誘致とともに町内企業と連携を図り、雇用機会の確保や多様な働き方ができる働き場づくりを推進します。

令和4年度　効果検証シート

２）主な取り組み

①	新規企業の立地促進・支援	所管課	企画情報課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・企業誘致エリアである埋縄川原地区において負担金施行とする水路施工について、適切に履行がなされるよう関係機関と調整を図り、適切な指導を実施し、施工が完了しました。 ※【実施計画】埋縄川地区水路改良事業 ・企業誘致奨励金措置について、令和3年4月に指定した事業者の初年度分の奨励金を交付し、雇用の促進を行いました。 ・企業誘致エリアにおける埋縄川原地区において、令和5年度夏頃の操業予定となることから、この事業者に対する企業誘致奨励金措置の調整が必要です。			
■令和5年度の取り組み方向			
・令和3年4月に指定した事業者の2年度分の奨励金の交付を実施します。 ・企業誘致エリアにおける埋縄川原地区において、令和5年度夏頃の操業予定のため、この事業者に対する企業誘致奨励金の事業者指定の調整を実施します。			

②	雇用機会の確保と雇用の促進	所管課	産業建設課、企画情報課、保険福祉課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
＜産業建設課＞ ・北勢地域若者サポートステーションの出張相談窓口を毎月1回設置し、就労情報の提供や相談活動を行いました。 ＜企画情報課＞ ・企業誘致エリアである埋縄川原地区において、操業予定事業者より雇用にかかる相談を受け付けるとともに、町内雇用を働きかけました。 ＜保険福祉課＞ ・三重労働局発行の「with　ｕｓ」（就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットホームを活用した支援）のリーフレットを窓口に設置しました。 ・外国人向けに、公益財団法人三重国際交流財団（MIEF）発行の「みえ外国人相談サポートセンター（MieCo）」のリーフレットを窓口に設置しました。			
■令和5年度の取り組み方向			
＜産業建設課＞ ・北勢地域若者サポートステーションなどと連携のもと就労情報の提供や相談活動を実施します。 ＜保険福祉課＞ ・引き続き、三重労働局発行の「with　ｕｓ」（就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットホームを活用した支援）のリーフレットを窓口に設置します。 ・引き続き、外国人向けに、公益財団法人三重国際交流財団（MIEF）発行の「みえ外国人相談サポートセンター（MieCo）」のリーフレットを窓口に設置します。			

③	働きやすい環境づくりの促進	所管課	産業建設課、子育て健康課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
＜産業建設課＞ ・柔軟な働き方が町民と企業に浸透するように朝明商工会等の関係機関と連携してパンフレットを窓口等に設置しました。 ＜子育て健康課＞ ・町民と企業が働きやすい職場環境づくりを推進していくために、「健康経営」についてホームページに掲載するとともに、子育て健康課及び保健福祉センター窓口に「健康経営優良法人認定制度」紹介のパンフレットを設置しました。			
■令和5年度の取り組み方向			
＜産業建設課＞ ・町ホームページ等を活用し、働きやすい環境づくり促進に向けたPRや情報提供に努めます。 ＜子育て健康課＞ ・町民と企業が働きやすい職場環境づくりを推進していくために、「健康経営」についてホームページに掲載するとともに、子育て健康課及び保健福祉センター窓口に「健康経営優良法人認定制度」紹介のパンフレットを設置していきます。			

３）重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
北勢地域若者サポートステーションへの就労相談を通じた進路決定者数	1件	目標値	→	→	→	→	年1件以上
		実績値	0件	1件			

基本目標２　活力ある働きやすいまちづくり

（２）商工業の振興

１）施策の方向

地域の企業の発展と成長を促し、地域経済の活性化を図るためには、新たな販路拡大の支援、経営安定化の支援、時代に即した商工業の育成や起業支援に取り組む必要があります。

朝明商工会と連携して時代の変化に即した活力ある商工業の振興や、特産品の創出などによる個性的で活力ある地場産業の振興を図ります。

令和4年度　効果検証シート

２）主な取り組み

①	時代変化に即した活力ある商工業の振興	所管課	産業建設課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・朝明商工会への補助金交付並びに中小企業への利子補給金（19件、399千円）を実施しました。 ・創業支援等事業計画に基づき、朝明商工会と連携して「あさけ女性創業塾」を実施しました。 ・コロナ禍により影響を受けている町内事業者への事業経営継続支援のため、「朝日町中小企業・小規模事業者等応援給付金事業」を実施しました（13件、3,760千円）。			
■令和5年度の取り組み方向			
・朝明商工会への補助金交付並びに中小企業への利子補給金等を実施します。 ・創業支援等事業計画に基づいた創業支援を実施します。			

②	地場産業の振興	所管課	産業建設課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・朝日まちなみプランにて整備された柿桜並木において、朝明商工会との共催により「あさひ東海道まつり」を開催し、特産品のPR、販路拡大に貢献しました。			
■令和5年度の取り組み方向			
・朝明商工会等と連携して新たな特産品を創出します。 ・町主催秋のイベント（朝日町文化祭と同日開催）、ふるさと納税制度において、特産品のPRを行い、販路拡大を支援します。			

３）重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
特産品の新規認定件数	1件	目標値	→	→	→	→	年1件以上
		実績値	1件	0件			
朝明商工会等の支援を受けた創業者数	1件	目標値	→	→	→	→	年1件以上
		実績値	0件	0件			

基本目標２　活力ある働きやすいまちづくり

（３）農業の振興

１）施策の方向

本町の農業は、高齢化や担い手不足により従事者が減少傾向にあり、次世代への継承が課題となっています。また、圃場整備を行ってからの期間が経過しており、農業施設の老朽化が進み、修繕等の対応が必要となっています。

担い手の確保による農業経営体制の強化や農産物の高品質化・ブランド化、生産性の向上、地産地消等を推進します。

令和4年度　効果検証シート

２）主な取り組み

①	農業生産基盤の維持向上	所管課	産業建設課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・多面的機能支援事業において、活動組織が行う老朽化した農業施設の長寿命化に対する支援を行い、農地や農業施設の適正な維持・改修を推進するため、２団体に補助金を交付しました。 ※【実施計画】多面的機能支援事業			
■令和5年度の取り組み方向			
・農業の持つ多面的な機能の保全・活用や農業の生産基盤を整備するため、地域ぐるみの共同活動や農業施設の修繕を支援する補助金等で、農地や農業施設の適正な維持・改修を推進します。 ※【実施計画】多面的機能支援事業			

②	農業の担い手の育成・確保	所管課	産業建設課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・農地の集積・集約化を推進し、農地区画拡大の補助金交付により担い手の経営拡大・効率化の支援を行い、農地利用集積率は65.4%となりました。 ※【実施計画】担い手対策事業 ・「農事組合法人　匠ファーマーズ三重朝日」の効率的・安定的な農業経営を支援するため、三重県と連携して農業の労務管理と社会保険などの勉強会を開催しました。			
■令和5年度の取り組み方向			
・農地中間管理機構を活用した農地利用の集積・集約化や農地の区画拡大を促進する補助金等で、担い手の経営拡大・効率化を支援します。 ※【実施計画】担い手対策事業 ・「農事組合法人　匠ファーマーズ三重朝日」の効率的・安定的な農業経営や農業の担い手を育成するため、必要な支援等を行います。			

③	農業生産等の振興	所管課	産業建設課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・特産品農作物である「あじさい」「あさひのお米」「原木しいたけ」「生栗」を町広報紙等においてＰＲ活動を行い、販路拡大を支援しました。 ・「あさひのお米」については学校給食での米飯食材として地産地消100%を達成しました。また、「原木しいたけ」「たけのこ」については、季節限定食材として地産地消を推進しました。			
■令和5年度の取り組み方向			
・特産品農産物を町広報誌等でのPR活動を行い農産物の販路拡大を支援します。 ・特産品農産物を関係機関等と連携し、学校給食での活用促進により地産地消に努めます。			

３）重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
農地利用集積率	62.4%	目標値	63.9%	66.0%	67.0%		70.0%
		実績値	65.6%	65.4%			
集落営農の法人化	0法人	目標値	1法人	－	－		1法人
		実績値	1法人	－			

基本目標３　人が集う魅力あるまちづくり

（１）適切な土地利用と良好な景観形成の推進

１）施策の方向

本町は、広域交通の条件が優れていることを背景に、良好な環境の住宅地をはじめ、国道1号沿いの商業地など、調和のとれた土地利用の誘導を図ってきました。また、朝日まちなみプランに基づき、自然や歴史・文化などの地域資源を生かし、朝日町らしい景観の形成を図っています。

引き続き、「持続可能な発展」を基本にし、豊かな自然環境、優良農地の保全・活用と市街地形成のための開発とバランスが取れた計画的な土地利用を推進するとともに、自然や歴史・文化などの地域資源を生かし、東海道まちなみ整備の推進による朝日町らしい景観形成を促進します。

また、本町の豊かな自然と快適な暮らしを持続させ次世代へ引き継いでいくため、多様な世代が快適な暮らしを送ることができる住環境の整備を図ります。さらに、空家の増加は防災、景観及び生活環境の保全上多くの問題が生じる要因となることから、朝日町空家等対策計画に基づく対策を推進します。

令和4年度　効果検証シート

２）主な取り組み

①	適正な土地利用の推進	所管課	企画情報課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・朝日町都市計画マスタープラン及び朝日町立地適正化計画の見直しに向けた情報収集を行いました。見直し時期については、社会経済情勢の変化による土地利用の動向等を鑑み再度検討する必要があります。			
■令和5年度の取り組み方向			
・朝日町都市計画マスタープラン及び朝日町立地適正化計画の見直しについて、引き続き情報収集を行うとともに、関係機関との連携を図りながら見直し時期について検討します。			

②	良好な景観形成の推進	所管課	産業建設課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・朝日まちなみ検討会主催、朝日町共催により、東海道のまちなみを朝日の竹で作った花挿しで演出する取組みを実施しました。また、ふれあいパークで開催した竹あかりの展示では、町民が作製した竹あかりの展示を行いました。 ・町民有志の団体による竹林整備が始まり、町で購入した樹木粉砕機の貸出（2団体、5回貸出）や補助制度（2団体、349千円）により活動を支援しました。 ※【実施計画】東海道まちなみ整備事業、森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）			
■令和5年度の取り組み方向			
・朝日まちなみプランに基づく、東海道沿いの景観向上への取り組みをあさひ竹プロジェクト等と連携して、町民とともに推進します。 ・町民有志の団体による竹林整備を支援します。 ※【実施計画】朝日まちなみプラン推進事業、森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）			

③	良好な住宅環境の推進	所管課	企画情報課、産業建設課
■令和4年度の進展度		B	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

＜企画情報課＞

・開発行為許可申請について、3件の申請を受け付け、適正な指導を実施しました。

＜産業建設課＞

・住宅の耐震診断や除去などへ誘導するため広報等を実施しました。その結果、耐震診断4件、除去4件を支援しました。また、診断を受けた方へ個別相談会の案内を送付し、3件の相談がありました。

※【実施計画】木造住宅耐震補強事業

・朝日町空家等対策計画に基づき、空家個別相談会を実施し、5件の相談がありました。

・空家の利活用を図るため、空家バンクを構築しました。

※【実施計画】空家等対策事業

■令和5年度の取り組み方向

＜企画情報課＞

・開発行為許可申請について。引き続き、適正な指導を実施します。

＜産業建設課＞

・住宅の安全性向上のために、耐震化の必要性などについて啓発を実施するとともに、耐震診断及び除去等について支援を実施します。

※【実施計画】木造住宅耐震補強事業

・新たな空家の発生抑制のため、適切な管理や除却の促進を促し、空家バンク登録への働きかけや利活用への相談体制強化等を実施します。

3）重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町民と連携し竹等を活用した景観向上等のイベント開催	―	目標値	→	→	→	→	毎年1回以上
		実績値	2回	2回			

基本目標３　人が集う魅力あるまちづくり

（２）観光交流資源の創出と情報発信

１）施策の方向

観光マップの「あさひタウンガイド」等の作成・配布による観光情報を発信してきましたが、観光資源に特化したコンテンツなどが不足しており、新たな観光・交流資源の創出を進める必要があります。さらに、新たな高速交通網の整備等により本町を取り巻く環境が変化することも視野に入れ、近隣市町との広域連携による観光情報の発信、東海道を活用した広域観光ルートづくりの検討が必要です。

このため、朝日まちなみプランに基づく東海道の整備により、交流人口・関係人口が増加し賑わいのある町の促進に努めます。また、東海道まちなみプランに基づく東海道の整備に伴い撮影した施設等の映像及び広域連携による観光・交流資源の積極的なPR活動を展開し、本町の認知度、ブランド力及び町の魅力の向上を図ります。

令和4年度　効果検証シート

２）主な取り組み

①	観光・交流資源の発掘・活用	所管課	産業建設課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・朝日まちなみ検討会主催、朝日町共催により、東海道のまちなみを朝日の竹で作った花挿しで演出する取り組みを実施しました。また、ふれあいパークで開催した竹あかりの展示では、町民が作製した竹あかりの展示を行いました。 ・朝日まちなみプランにて整備された柿桜並木において、朝明商工会との共催により「あさひ東海道まつり」を開催しました。 ・あさひ竹プロジェクトによる竹テント作成ワークショップに13人、竹駕籠作成ワークショップに8人の方が参加しました。 ※【実施計画】東海道まちなみ整備事業、森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）			
■令和5年度の取り組み方向			
・竹あかり展示イベント等を、朝日まちなみプランにより整備された施設等にて開催を検討します。 ※【実施計画】朝日まちなみプラン推進事業、森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）			

②	広域連携による観光振興	所管課	産業建設課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・北伊勢10市町との広域連携および朝明商工会との連携により、金山駅（愛知県）にて開催された物販イベントにて朝日町特産品等の販売、パンフレット配布等を行いました。			
■令和5年度の取り組み方向			
・近隣市町との広域連携による観光情報の発信や、各市町のイベント実施などにより広域的な観光振興を図ります。			

③	観光・交流資源の情報発信	所管課	産業建設課
■令和4年度の進展度		A	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

・朝日まちなみプランについては、都市再生整備計画最終年度であることから外部有識者を含めた事後評価委員会に諮り、適切に事後評価を実施し町ホームページにて公表しました。
・観光・交流資源のPRを推進するため、町広報紙において「まちなみ通信」を8回掲載しました。
・朝日まちなみプラン進捗状況紹介動画を作成しました。
・スマートフォンにより利用可能なナビシステムである「まち歩きナビ」に２コース追加しました。
※【実施計画】東海道まちなみ整備事業
・三重県と株式会社ポケモンとの提携に基づき寄贈された「ポケふた」をふれあいパークに設置しました。

■令和5年度の取り組み方向

・報道機関との連携や町広報紙等の活用により、観光・交流資源のPRを推進します。
・朝日まちなみプランの進捗状況紹介動画をCCNet放映、町ホームページ等にて発信します。
・スマートフォンにより利用可能なナビシステムである「まち歩きナビ」の充実を図ります。
※【実施計画】朝日まちなみプラン推進事業
・鉄道事業者に対して地域資源などについてPRし、東海道ウォーキングの際に積極的な活用を図ります。

３）重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
朝日まちなみプランに関する町広報紙年間掲載件数	6件	目標値	→	→	→	→	現状維持以上
		実績値	8件	8件			

基本目標３　人が集う魅力あるまちづくり

（３）歴史・文化の継承と活用

１）施策の方向

本町には、国指定重要文化財である舎利容器を出土した縄生廃寺（県指定史跡）をはじめ、古萬古・有節萬古の窯跡などの埋蔵文化財、国学者の橘守部、日本画家の栗田真秀・水谷立仙に関する歴史資料など多くの歴史・文化に関連する文化財が収蔵、展示、保護されています。今後も引き続き、文化財の調査、研究、保存を行うとともに、地域の活性化に資する交流資源として活用することが必要です。

このため、貴重な歴史的・文化的資源を大切に保全し、この資源の活用による町民の歴史・文化意識の高揚と地域活性化を推進します。また、文化財の展示や歴史・文化にかかわる学習を行うとともに、芸能・ 芸術活動も推進し、文化の香り高いまちづくりを推進します。

令和4年度　効果検証シート

２）主な取り組み

①	文化財の保護と活用	所管課	文化課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・町有地の県史跡等は、定期的な除草作業を行い適切な管理につとめました。また、県史跡の縄生廃寺については博物館で関連する企画展を開催し、文化財保護啓発の一助としました。 ・文化財保護法にもとづく三重県文化財保護条例第48条第1項により、開発行為に伴う試掘調査を1件、工事立会を3件実施しました。 ・朝日町の歴史・文化の情報発信のため、古文書学習会（全7回）及び文化教養講座（全3回）を企画開催し、参加者数は古文書学習会がのべ156人（7回分）、文化教養講座がのべ69人（3回分）となりました。			
■令和5年度の取り組み方向			
・古文書学習会（全7回）及び文化教養講座（全3回）を実施します。 ・今後も朝日町の歴史・文化を発信できるテーマなどで事業内容を検討します。			

②	町史の編さん	所管課	広報・町史編さん課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・橘守部編では執筆委員会議を4回開催し、目次の検討、進捗状況の確認を行いました。また掲載資料の筆耕作業を継続するとともに、石水博物館や二松学舎大学付属図書館において資料調査を実施しました。 ・通史編・別編においては執筆委員会議を4回開催し、誌面デザインや構成の検討を行いました。また執筆者においては動植物の生態調査や古文書などの資料調査を行いました。 ・町史編さん事業の周知のため小学生を対象とした自然観察会（参加者4名）と大人を対象とした講演会（演題「近代朝日の村勢と東芝三重工場」、参加者29名）を開催しました。 ※【実施計画】町史編さん事業			
■令和5年度の取り組み方向			
・橘守部編においては群馬県立文書館にて調査を行うとともに、編集・校正作業を進め、令和５年度末に『新修朝日町史　資料編３　橘守部』を刊行します。 ・通史編・別編においては令和6年10月刊行に向けて執筆者会議を開催し、進捗状況の確認を行うとともに誌面の内容について調整を行っていきます。また執筆者においては動植物の生態調査や古文書などの資料調査をすすめ、原稿の執筆・編集・校正作業を進めていきます。 ・町史編さん事業の周知のため、自然観察会や講演会などの事業を行います。 ※【実施計画】町史編さん事業			

③	文化・芸術活動の推進と継承	所管課	生涯学習課
■令和4年度の進展度		B	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

・公民館活動は、コロナ禍ではあったが感染症対策を講じ11教室の活動ができました。そのうち新規教室を2教室開催することができ、次年度も引き続き開催していきます。固定化、高齢化が進んでいるため新規教室を積極的に開講していく必要があります。
・11月6日開催の朝日町文化祭については新型コロナウイルス感染症対策のため、屋外ブースの中止及び舞台前観覧席をなくし２階を開放するといった対策を講じての開催となりましたが、約1,000人の方が来場されました。
年々出展者が減っていることから、募集の方法などを検討していく必要があります。

■令和5年度の取り組み方向

・公民館活動については講師登録制度を引き続き実施し、新規教室（できれば若い世代が参加できるような）をできる限り開催していくため、内容や開催時間を検討していきます。また、公民館のデジタル活用の観点からスマートフォン教室の開催を検討していきます。
・朝日町文化祭については年々出展者が減っていることから、募集の方法や開催方法などを検討していきます。

３）重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
博物館年間来館者数	4,431人	目標値	1,150人	1,300人	2,000人		5,500人
		実績値	1,078人	1,822人			
団体の発表会・展示会等の開催回数	3回	目標値	1回	2回	2回		4回
		実績値	1回	2回			

基本目標４　安心してずっと暮らせるまちづくり

（１）誰もがいきいきと暮らせる環境づくり

１）施策の方向

全ての町民が人間としての尊厳と権利が守られ、生涯にわたって健康に恵まれ、生き生きと生活できるよう、保健・医療・福祉サービスの充実と地域の支え合いにより、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりが求められています。これらのニーズに的確に対応するため、地域福祉人材の育成、福祉サービスの充実、高齢者の生きがいづくり・高齢者を支える地域づくりなどを推進します。

また、町民一人一人が健康寿命を延ばし、生涯にわたって生き生きと過ごせるよう疾病予防や重症化対策の推進、さらに地域ぐるみの健康づくりに取り組みます。

令和4年度　効果検証シート

２）主な取り組み

①	地域福祉の人材育成	所管課	保険福祉課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・朝日町社会福祉協議会主催による地域福祉に関する意識啓発の場である「朝日町福祉感謝祭」は、規模を縮小して「福祉大会」「講演会」を実施しました。 ・民生児童委員に関して、月1回の民生児童委員協議会を通じて、町から福祉制度の周知を行い、福祉に対する知識向上に協力ができました。 ・民生児童委員は、12月に19名の方が改選され、無事に委嘱を受けられました。概ね委員数の確保ができました。 ・認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成するため養成講座を１回実施し、33名の方が参加しました。			
■令和5年度の取り組み方向			
・朝日町社会福祉協議会主催による「朝日町福祉感謝祭」を開催し、地域福祉に関する意識啓発を引き続き行います。 ・引き続き、民生児童委員に関して、月1回の民生児童委員協議会を通じて、町から福祉制度の周知を行い、福祉に対する知識向上に協力していきます。 ・認知症サポーターを養成するため、引き続き養成講座を開催します。			

②	地域福祉の体制づくり	所管課	保険福祉課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・民生児童委員に関して、月1回の民生児童委員協議会を通じ、町から高齢者、障害者、生活困窮者等の情報提供の協力を行ったことで、円滑に民生委員活動の実施ができました。 ・6月に移動販売事業者1社と高齢者、障がい者、子どもその他住民に対する見守り活動に関する協定の締結を行いました。また、3月に医薬品等販売事業者1社と締結した包括連携協定にも高齢者、障がい者、子どもその他住民に対する見守り活動に関する内容を盛り込み、目標以上の協定締結数となりました。			
■令和5年度の取り組み方向			
・引き続き、民生児童委員に関して、月1回の協議会を通じ、町から高齢者、障害者、生活困窮者等の情報提供を行い、円滑な活動の実施に協力していきます。 ・見守りに関する協定については、新たな企業や各種団体との協定締結を検討し、協定に基づく見守り活動が幅広く実施されるよう、引き続き見守り活動への協力事業者を増やしていきます。			

③	高齢者の生きがいづくり・高齢者を支える地域づくりの推進	所管課	保険福祉課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・通いの場としてのサロン事業、福祉人材センターのボランティア募集等については新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら引き続き継続し、サロン事業については前年度を大幅に上回る実績となりました（119回実施）。 ・配食サービスについては「配食ボランティア」と「給食ボランティア」、2つのボランティア団体により月1回ずつ計月2回を6ヶ月、合計12回実施しました。 ・地域包括ケアシステムについては、昨年度に引き続き三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）と協力して進めており、特に認知症施策の実施を重点的に行いました。			
■令和5年度の取り組み方向			
・高齢者の生きがいづくり、高齢者を支える地域づくりの推進のため、通いの場としてのサロン事業、福祉人材センターのボランティア募集等を引き続き実施します。 ・「配食ボランティア」及び「給食ボランティア」による月2回の配食サービスを継続実施します。 ・地域包括ケアシステムについては、昨年度に引き続き三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）と協力して進めていきますが、特に薬剤師会と協働し、在宅医療・介護連携の推進についてを重点的に進めていく予定です。			

④	疾病予防や重症化対策の推進	所管課	子育て健康課、保険福祉課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
＜子育て健康課＞ ・疾病予防や生活習慣病重症化予防のため、各種健（検）診については、対象者へ個人通知にて案内し、勧奨しました。 ・がん検診案内時には、各がんに関する情報や検査方法、精密検査の重要性などを記載した説明書を同封し、健診受診後の精密検査受診の必要性を啓発しました。 ・がん検診受診者数（受診率）は、胃がん検診352人（5.8%）、大腸がん検診580人（9.5%）、肺がん検診497人（8.1%）、乳がん検診562人（15.1%）、子宮がん検診516人（12.3%）、前立腺がん検診238人（8.0%）でした。 ＜保険福祉課＞ ・四日市医師会及び管内市町と協力し、新型コロナウイルス感染拡大予防対策を行いながら、国保特定健康診査・後期高齢者健康診査・後期高齢者歯科検診を実施しました。また、受診者向上にむけて通知勧奨及び訪問勧奨を実施し、国保特定健康診査411人（48.5%）、後期高齢者健康診査530人（46.0%）、後期高齢者歯科検診49人（18.6%）となり、前年度より受診率が向上しました。			
■令和5年度の取り組み方向			
＜子育て健康課＞ ・各種健（検）診については、対象者へ個人通知にて案内し、勧奨していきます。 ・がん検診案内時には、各がんに関する情報や検査方法、精密検査の重要性などを記載した説明書を同封し、健診受診後の精密検査受診の必要性を啓発していきます。 ＜保険福祉課＞ ・国保特定健康健康診査の受診率は、国の目標とする60%に達していないため、引き続き通知勧奨や訪問勧奨による事業勧奨を予定しています。			

⑤	地域や関係機関と協働した健康づくりの推進	所管課	子育て健康課
■令和4年度の進展度		B	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

・「あさひ健康マイレージ事業」を活用し、一人一人が積極的な健康づくりを推進できるよう、あさひ健康マイレージ事業の啓発を実施しました。具体的には周知・啓発のためチラシを5,000枚作成し、町広報紙折込にて全戸配布しました。また、各種がん検診や国保特定健康診査のご案内時にチラシを同封し、啓発を行いました。さらには朝日町特産品（あさひのお米）をインセンティブとし、参加者の増加を図ると共に、特産品の啓発も行いました。しかし、参加者が12名と少なく、さらなる啓発が必要です。

・町民と企業が働きやすい職場環境づくりを推進していくために、「健康経営」についてホームページに掲載するとともに、子育て健康課及び保健福祉センター窓口に「健康経営優良法人認定制度」紹介のパンフレットを設置しました。

■令和5年度の取り組み方向

・「あさひ健康マイレージ事業」を活用し、一人一人が積極的な健康づくりを推進できるよう、周知・啓発のためチラシを5,000枚作成し、町広報紙折込にて全戸配布するなど、引き続き啓発を行います。

・町民と企業が働きやすい職場環境づくりを推進していくために、引き続き「健康経営」についてホームページに掲載するとともに、子育て健康課及び保健福祉センター窓口に「健康経営優良法人認定制度」紹介のパンフレットを設置します。

3）重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
福祉人材センター登録者数	17人	目標値	20人	20人	20人		33人
		実績値	17名	18人			
徘徊高齢者SOSメール登録者数	216人	目標値	230人	380人	380人		300人
		実績値	359人	360人			
見守りに関する協定数	1協定	目標値	2協定	3協定	5協定		5協定
		実績値	2協定	4協定			
後期高齢者健診受診率	47.6%	目標値	46.0%	47.0%	48.0%		50.0%
		実績値	48.0%	46.0%			

基本目標４　安心してずっと暮らせるまちづくり

（２）協働のまちづくりの推進とコミュニティの育成

１）施策の方向

生活様式や価値観の多様化などに伴い、自治活動への参加意識が低くなり、地域コミュニティの弱体化が生じています。また、多様化する町民ニーズ、行政だけでは解決できないような地域課題、厳しさを増す行財政運営などを背景として、町民の行政への参加による協働のまちづくりがこれまで以上に求められています。

このため、町民と行政が情報の共有、相互補完、参画・協働、連携体制の強化などを通じて、地域課題の解決や魅力ある地域づくり、次代の担い手の育成、時代に合わせたコミュニティ活動の活発化や自治機能の向上を推進します。

令和4年度　効果検証シート

２）主な取り組み

①	町民参画と開かれた町政の推進	所管課	企画情報課、総務課、広報・町史編さん課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			

＜企画情報課＞

・町民の参画意識高揚のため、「第6次朝日町総合計画前期基本計画」「朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和3年度事業評価を町ホームページにて公表しました。また、「朝日町生活者応援事業」においては、事業に対する町民の意見を聴くためアンケート調査を実施し、事業の効果検証を行いました。

＜総務課＞

・新庁舎建設基本構想の策定にあたり、パブリックコメントを実施し町民の意見を反映させました。

※【実施計画】新庁舎建設事業

＜広報・町史編さん課＞

・広く町民の意見を聴くため、町ホームページに「町政への意見箱」を継続して設置しました（令和4年度意見数12件）。また、ホームページバージョンアップ事業の際に、より町民が意見を発しやすいよう町政への意見箱の内容の見直しを実施しました。

・町ホームページにおいて、容易に必要な情報を取得できるようサイト構成の見直しや「ライフメニュー」の新設などリニューアルを行い、情報発信の強化に努めました。また、町ホームページを安全に安心して閲覧できるようセキュリティ強化のため、通信を暗号化する常時SSL化を導入しました。

［常時SSL化：SSL（Secure Socket Layer）とは、インターネット上でデータを暗号化して送受信する仕組みの一つです。常時SSL化では、ホームページ全体が暗号化されるため、第三者による通信データの盗聴・改ざん・なりすましを防止することができます。］

※【実施計画】ホームページCMS更新・バージョンアップ事業

・町広報紙である「広報あさひ」をスーパーや病院など町内各所に配置し、広報機会の充実に努めました。

・効率的な情報発信ができるよう広報あさひの折込チラシについて見直しを行いました。

・関係課と連携しながら、あさひPRパンフレットを作成し、情報発信に努めました。

■令和5年度の取り組み方向

＜企画情報課＞

・引き続き、町民の参画意識高揚のため、「第6次朝日町総合計画前期基本計画」「朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和4年度事業評価が完了後、速やかに町ホームページにて公表します。

＜総務課＞

・今年度より策定予定の新庁舎建設基本計画について、策定委員会委員の一般公募、パブリックコメント等により町民の意見を反映させます。

・第１回タウンミーティングが未実施である白梅西地区については、タウンミーティングを６月に実施するとともに、第２回タウンミーティングについても今後実施する予定です。

＜広報・町史編さん課＞

・引き続き、広く町民の意見を聴くため、町ホームページに「町政への意見箱」を設置します。

・町広報紙である「広報あさひ」を引き続きスーパーや病院など町内各所に配置し、新たな施設への配置など拡充を図ります。また、折込チラシについて、発刊回数を減らすことや回覧により大幅に削減します。

・広報手段の充実のため、SNS等の活用について検討します。

・完成したあさひPRパンフレットを全世帯へ配付するとともに、新たな町の情報発信ツールとして利用していきます。

②	地域の多様なコミュニティ活動の支援	所管課	企画情報課、総務課、生涯学習課、保険福祉課
■令和4年度の進展度		B	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

＜企画情報課＞

・各自治区の活動支援として、朝日町地域づくり推進事業補助金を9自治区に5,558千円交付決定を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の縮小等で実績額は4,566千円、活用率は76.1%となりました。また、持続可能な自治区活動が図られるとともに、コロナ禍においても補助金が有効活用されるよう、2月に開催された自治区長会にて各自治区の申請状況及び事業内容について情報交換を行いました。さらには、区長からの要望に基づき補助金制度の理解が深まるようQ＆Aを作成しました。

※【実施計画】地域づくり支援事業

・例年、サマーフェスタ実行委員会にコミュニティ団体への活動支援を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響によりサマーフェスタASAHIは中止となりました。また、今年度も含めて5年間中止になっていることなどを踏まえて事業の見直しを行い、サマーフェスタ実行委員会での協議のもと町主催の代替イベントへ転換することが決定しました。

※【実施計画】サマーフェスタ委託事業

・県がコミュニティ活動において、地域のつながりの希薄化、参加者の固定化、担い手不足等の課題解決のため設置した「持続可能なコミュニティづくり推進検討会議」に引き続き出席し、情報収集を行いました。

・小向自治区から一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業の申請相談があり、募集要項等の情報提供を行い、10月上旬に県を経由して助成申請しました。

＜総務課＞

・町内9自治区への活動支援（運営支援）として、自治区補助金（年総額2,889千円）、自治区用人費補助金（年総額2,194千円）及び自治区振興補助金（年総額2,500千円）を人口、世帯数を勘案し補助を行いました。

・自治区長会（6回開催）を通じて自治区と行政の情報共有を図りました。また、各自治区要望（54件）に対する対応状況の報告を自治区長会にて行いました。

・自治区の加入率低下や自治会活動の担い手不足等により自治会組織の体制維持が困難になっていることの課題解決策のひとつとして、町ホームページに自治区活動について紹介するページを新設しました。

＜生涯学習課＞

・本部子ども会への支援として、朝日町子ども会育成者連絡協議会へ252千円補助金を交付するとともに運営支援を行いました。地区子ども会へは前述の補助金から各地区へ補助金を交付し、活動で必要な保険や、子ども会の運営に関する支援を行いました。

・地区公民館への支援として朝日ヶ丘分館の建替工事と柿分館の修繕工事について朝日町財政健全化措置要綱により補助金の交付申請があり予算措置を行いました。

＜保険福祉課＞

・老人クラブに対し、活動補助金を交付し、老人クラブの活動を支援しました。

■令和5年度の取り組み方向

＜企画情報課＞

・引き続き、朝日町地域づくり推進事業補助金をもとに持続可能な自治区活動が図られるよう活動支援を実施します。また、補助金が有効に活用されるよう作成したQ＆Aを送付することにより補助金制度の理解促進を図るとともに、補助金窓口である企画情報課において随時相談対応を行います。

※【実施計画】地域づくり推進事業

・町主催秋のイベント開催（朝日町文化祭と同日開催）に向けて各種関係機関と調整を図るとともに、町民の皆さんの関心を高めるため、イベント名の公募を行います。

・小向自治区のコミュニティ助成事業の円滑な実施に向けて、支援を行います。また、他のコミュニティ団体の活動支援のため、一般財団法人自治総合センターの補助メニューについて周知を行います。

＜総務課＞

・町内9自治区への活動支援（運営支援）として、自治区補助金、自治区用人費補助金及び自治区振興補助金を人口、世帯数等を勘案し各地区へ補助を行う予定です（令和5年8月頃）。

＜生涯学習課＞

・公民館分館の建替や修繕について、円滑に事業が実施されるよう補助金を交付します。

・引き続き本部子ども会への補助金を交付するとともに運営支援、地区子ども会へは各地区へ補助金を交付し、活動で必要な保険や子ども会の運営に関する支援を行います。

＜保険福祉課＞

・引き続き、老人クラブに対し、活動補助金を交付し、老人クラブの活動を支援していきます。

3）重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町ホームページアクセス数	335件/日	目標値	350件/日	580件/日	450件/日		400件/日
		実績値	573件/日	444件/日			
地域づくり推進事業補助金活用率	83.8%	目標値	→	→	→	→	現状維持以上
		実績値	65.0%	76.1%			

基本目標４　安心してずっと暮らせるまちづくり

（３）安全・安心な地域づくり

１）施策の方向

南海トラフ地震や洪水、土砂災害、高潮など様々な態様の風水害などから町民の生命と財産及び生活を守るために、平常時における準備や、災害発生時に迅速な対応ができる基盤と仕組みの整備に加え、自助・共助・公助による町全体の防災力の強化に努め、災害に強いまちづくりを推進します。

また、誰もが安全で安心して暮らせるよう、町民一人一人が防犯や交通安全等に関心を持つとともに、防犯設備や交通安全設備の整備及び維持管理を適正に行い、犯罪や交通事故が発生しにくいまちづくりを推進します。

令和4年度　効果検証シート

２）主な取り組み

①	災害に強いまちづくりの推進	所管課	防災保全課
■令和4年度の進展度		B	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

・大雨警報等発表時、災害発生時に迅速に対応できるよう災害時職員初動マニュアルに基づき朝日町災害対策本部を3回設置しました。

・災害備蓄品の計画的な更新や充実、防災関連機器の適切な維持管理などはほぼ予定とおり取り組めました。また、新型コロナウイルス感染症による影響もあり、防災訓練は縮小開催となりましたが、自主防災隊や一般参加者など約150名が参加し、避難所運営に関する訓練や応急手当などの救助教養訓練、炊き出し訓練を実施し、参加者は熱心に防災知識・技能習得などに取り組んでいただきました。

・避難行動要支援者関連事業においては、制度内容や自治区協力の必要性や個別避難計画の作成における支援の必要性や支援者の発掘（登録）などの制度説明を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、地区班長会が中止になるなど自治区へ出向くことができず、制度の詳細な理解を求めることができませんでした。

・大規模風水害時の広域避難に関する「三泗地区1市3町の広域避難に関する会議」では、「三重県・三泗地区1市3町による災害時における広域避難等相互応援に関する協定」を9月26日に締結しました。また、締結後も、引き続き1市3町及び県とで連携するために担当者勉強会へ参加し、継続的な情報収集や情報交換を行いました。

・災害情報配信の多角化については、朝日Sアラート機能の拡充（気象連携・ハザードマップの掲載などのカテゴリの追加）、ケーブルテレビチャンネルと朝日Sアラートの連携完了など、災害情報の配信に関し拡充が図れました。

■令和5年度の取り組み方向

・災害備蓄品の更新や充実などは、引き続き計画的に実施します。また、「防災」は日々変化するためタイミングを見計らい迅速な対応を目指します。

・避難行動要支援者関連事業においては、支援者の発掘（登録）、個別避難計画の作成を推進します。

・令和4年度末に県が指定した高潮浸水想定区域などを含めた内容を、朝日町地域防災計画へ追記し修正します。

※【実施計画】地域防災計画修正事業

・防災行政無線（同報系・移動系）やIP無線機など、防災伝達設備維持に努めます。

※【実施計画】防災情報設備維持管理事業

・避難所となる小学校体育館に非常用発電機の設置を推進します（6月補正事業）。

②	防犯意識の高揚と防犯活動の充実	所管課	総務課
■令和4年度の進展度		B	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

・警察、防犯協会等の関係機関と連携し、広報活動等を通じて防犯意識の高揚に向けて啓発を行いました。
・事件情報等について、警察等の関係機関と情報共有及び連携を行いました。
・防犯に関する情報発信を町ホームページ、町広報紙への記事掲載、回覧等で行いました。
・防犯灯などの防犯施設の設置及び維持・修繕について、要望等に基づき新設、改良及び更新工事を計14箇所行いました。
・防犯カメラ（3基）について、3月より運用が開始されました。
※【実施計画】防犯カメラ設置事業
・四日市北警察署朝日交番が令和4年9月5日から運用開始され、地域の防犯・交通安全のさらなる充実が図られました。
・民間事業者（ケーブルテレビ）が設置した町内ライブカメラが令和4年4月から運用開始されました。

■令和5年度の取り組み方向

・引き続き警察、防犯協会等の関係機関と連携し、情報共有及び広報活動等の連携強化に努めます。
・朝日町学校安全体制整備協議会を通じ、地域防犯力の向上に向けた課題検討を行います。
・事件情報及び防犯情報等の情報発信を各種媒体で行います。
・防犯灯などの防犯施設の設置及び維持・修繕について、各地区の意向を踏まえ実施します。
・令和5年度設置予定の防犯カメラ（3基）の整備を進めます。
※【実施計画】防犯カメラ設置事業
・防犯パトロール導入に向けて、県警察と連携を図りながら導入計画の策定を行います。

③	交通安全対策の推進	所管課	総務課、教育課、産業建設課
■令和4年度の進展度		A	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

＜総務課＞
・警察、交通安全協会等の関係機関と連携し、街頭指導等の活動を行いました。
・カーブミラーなどの交通安全施設の設置及び維持・修繕について、要望等に基づき新設、改良及び更新工事を計13箇所行いました。
・交通違反が多発している箇所について、警察に対し交通取締要望書を提出し町内の交通秩序の維持に努めました。
＜教育課、総務課、産業建設課＞
・朝日町通学路安全推進会議において、PTA等関係機関からの課題・要望内容の精査を行い、各管理者で必要な対策として側溝蓋の設置、水路の浚渫、県道跨線橋ガードパイプ・ラバーポール設置、外側線再塗装、舗装修繕を行いました。

■令和5年度の取り組み方向

＜総務課＞
・引き続き警察、交通安全協会等の関係機関と連携し、街頭指導等を含め連携強化に努めます。
・カーブミラーなどの交通安全施設の設置及び維持・修繕について、各地区の意向を踏まえ実施します。
＜教育課、総務課、産業建設課＞
・朝日町通学路安全推進会議において、PTA等関係機関からの課題・要望の把握に努め、各管理者で必要な対策を講じます。
＜教育課＞
・登下校時における子どもの安全を守るため、学校・教育委員会、警察、自治体、家庭、地域の団体等の連携による安全推進体制の見直し・強化に取り組みます。

3）重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
朝日Sアラート登録者数	1,082人	目標値	1,200人	1,500人	2,700人		2,200人
		実績値	2,222人	2,717人			
避難行動要支援者避難援助プラン（個別計画）の策定	準備中	目標値	事業継続	事業継続	事業継続		随時更新
		実績値	事業継続	事業継続			
刑法犯認知件数	80件	目標値	76件	71件	70件		60件
		実績値	65件	77件			
交通事故発生件数（人身事故）	31件	目標値	29件	27件	26件		23件
		実績値	13件	15件			

基本目標４　安心してずっと暮らせるまちづくり

（４）持続可能な行財政運営

１）施策の方向

町民ニーズの多様化への対応、社会保障費の増大、公共施設の老朽化問題など、様々な行政課題にあたり、財源の安定的な確保とともに効果的かつ効率的な行財政運営が求められています。

このため、限られた資源（人員・財源等）を有効に活用し、事業の選択と集中により効果的かつ効率的な行政運営に努めるとともに、オンライン化等による行政サービスの向上やスマート自治体への転換を推進します。

また、安定的な財源の確保と行財政運営経費の見直しを行い、中長期的な財政計画に基づき、自主財源の安定確保と財源の有効活用に努め、健全で持続可能な財政運営を推進します。

さらに、公共施設等の老朽化や維持管理にかかる費用の平準化等の公共施設マネジメントを図り、計画的な維持管理の実施と長寿命化を図り、安定的な財政運営を推進します。

一方で、町民の生活や活動範囲が拡大する中、広域的な行政課題等に対して近隣市町との共同事業として取り組みます。

令和4年度　効果検証シート

２）主な取り組み

①	効率的な行政運営と行政の情報化への対応	所管課	企画情報課、総務課、町民環境課、生涯学習課
■令和4年度の進展度		B	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

＜企画情報課＞

・三重県市町DX推進協議会に計４回参加し、Logoチャット上でも積極的な情報収集を図りました。

・庁内の職員で構成される朝日町電子自治体推進委員会にて、「朝日町デジタル戦略推進計画」を推進するため、デジタル化にかかる情報共有（スマート申請の導入）を図るとともに、計画の内容を更新しました。

・三重県と連携して、スマートフォンに不慣れな方（初心者）向けに「初めてのスマホと安全講座」を1月18、19日に開催し、35名の参加がありました。参加者からは、大変好評でした。

・オンライン申請及び書かない窓口等について、システムベンダーが実施したデモに参加し情報収集を行いました。

・10月に実施した内部情報系リプレースでは、円滑に事業が遂行されるよう令和4年度1年間を通してシステムベンダーと4月から毎月第4木曜日に打ち合わせを実施しました。また、本事業では、機能が拡充されたグループウェアシステムや財務会計システムへ更新するとともに、新たに勤怠管理システムを導入しました。さらには、職員が使用する端末にWEB会議機能を搭載した端末を導入したことにより、更なる利便性の向上が見込まれます。

※【実施計画】電算機器・システム（内部情報系）更新事業

・内部情報系リプレース時の打ち合わせにおいて、国が掲げる令和7年度までに移行が必要な標準準拠システムについて、システムベンダーと情報共有を図りました。

＜総務課＞

・マイナポイント事業（第２弾）の啓発記事を広報あさひに掲載したほか、マイナポイントの手続き支援を1,041件実施しました。

・住民票の写し及び印鑑登録証明書をコンビニ等でマイナンバーカードを利用して発行できる仕組みを構築し、令和5年3月13日から稼働を開始して79通の発行実績がありました。

※【実施計画】証明書コンビニ交付システム導入事業

＜町民環境課＞

・マイナンバーカードの臨時窓口（平日夜間・休日）について、町広報紙及び町ホームページで周知を行いました。

・令和5年３月末現在マイナンバーカード交付率は71.11％でした。

・今後の課題としては、現在未交付になっているマイナンバーカードをマイナポイント申請期限である令和5年9月末までに交付することです。

・スマートフォンとマイナンバーカードを利用して、転出届、戸籍証明の交付申請ができるスマート申請を導入しました。転出は令和5年2月より、戸籍証明は令和5年3月より稼働し、転出は5件、戸籍証明は2件の実績がありました。

※【実施計画】スマート申請システム導入事業

■令和5年度の取り組み方向

＜企画情報課＞

・引き続き、三重県市町DX推進協議会や朝日町電子自治体推進委員会等通じ、庁内外問わず積極的な情報共有や緊密な連携を図ります。

・オンライン申請及び書かない窓口について、引き続き情報収集いたします。

・標準準拠システムの移行に向けて、現行システムとのギャップをシステムベンダーとそれぞれの業務所管課で詳細に分析を行います。また、継続して、県・県内市町・システムベンダーとも情報共有を図りながら、確実に標準化対応を実施するため準備を進めます。

＜総務課＞

・マイナポイント事業（第２弾）の申込期限延長（令和５年９月末まで）に伴い、引き続き周知啓発及び申込手続き支援を実施していきます。

・マイナンバーカード交付率の大幅な増加に伴い、昨年度より稼働した証明書コンビニ交付サービスの利用率向上に向けた周知啓発を行います。

＜町民環境課＞

・令和5年2月末までにマイナンバーカードの交付申請を行った方について、令和5年9月末までに交付をすることが出来るよう、引き続き臨時窓口（平日夜間・休日）の開設を行います。

＜生涯学習課＞

・公民館のデジタル活用の観点からスマートフォン教室の開催を検討していきます。

②	健全な財政運営の推進と自主財源の確保	所管課	総務課、町税及び使用料・手数料に関する徴収所管課、防災保全課
■令和4年度の進展度		B	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

＜総務課＞

・新規事業に加えて、経常経費である公債費や人件費、さらには、物価高騰等による光熱水費の増額などにより、財政調整基金の年度末残高は前年度末と比較し約1億3千万円の減となりました。今後も財源の確保を図るとともに、既存事業の見直しを行うなど収支改善に取り組む必要があります。

＜町税及び使用料、手数料に関する徴収所管課＞

・未納者に対して、督促、催告、滞納処分等により徴収率の向上に努めました。

・電子納付の対象税目に固定資産税、個人町県民税（普通徴収）及び軽自動車税（種別割）を追加しました。

＜総務課＞

・ふるさと納税は、寄附受入額が過去最高額（647件、9,269千円）となりました。

・ふるさと納税推進のため、令和4年度に新規参入いただいた事業者を含め、返礼品を計15品を追加しました。また、町内の指定店舗で利用可能なオンライン商品券（金額帯は13種類）を導入しました。

＜防災保全課＞

・公共用地の未利用地についての処分はありませんでした。

■令和5年度の取り組み方向

＜総務課＞

・中長期的な収支均衡を図り、将来にわたって効率的かつ安定的な財政構造へ転換するため、「朝日町財政改革推進プラン」を策定し、早期に徹底した収支改善に図る取り組みを実施します。

＜町税及び使用料、手数料に関する徴収所管課・総務課＞

・未納者に対して、督促、催告、滞納処分等を継続して実施します。

・新しく追加された電子納付を含め、収納サービスについて周知を図ります。

・利用料、使用料について、受益者負担の適正化を目指し、長期間見直しされていないものなどについて、「朝日町財政改革推進プラン」で方向性を示します。

＜総務課＞

・ふるさと納税推進のため、引き続き総務課と産業建設課が連携し、魅力ある返礼品開発を行います。

＜防災保全課＞

・未利用の公共用地の処分については、引き続き検討します。

③	公共施設等の適切な維持管理	所管課	総務課・各公共施設管理所管課
■令和4年度の進展度		B	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

＜総務課・各公共施設管理所管課＞

・庁舎及び小中学校をはじめとした各公共施設において、朝日町公共施設個別施設計画に基づき適切な維持管理に努めました。

■令和5年度の取り組み方向

＜総務課・各公共施設管理所管課＞

・限られた財源で計画的に公共施設の保全や長寿命化を図るため、引き続き朝日町公共施設個別施設計画に基づく各施設の維持管理・更新に努めます。大規模な事業として朝日中学校のトイレ改修があり、6月～10月に実施します。

④	広域連携（県や近隣市町）による行政の推進	所管課	企画情報課、防災保全課、税務課、保険福祉課、上下水道課、町民環境課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・現状の広域連携である「常設消防委託事業」「三重地方税管理回収機構」「三重県後期高齢者医療広域連合」「三重県三重郡老人福祉施設組合」「北勢沿岸流域下水道」「川越排水機場維持管理」「朝明広域衛生組合」「朝日町、川越町組合立環境クリーンセンター」を維持し、共同事業として取り組み、効率的な行政運営を推進しました。			
■令和5年度の取り組み方向			
・引き続き、現状の広域連携を維持するとともに、新たに広域的な対応を必要とする行政課題に対しては、共同事業として取り組むことを検討します。			

3）重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
実質公債費比率	6.8%	目標値	6.5%	6.5%	6.5%		6.0%
		実績値	7.4%	7.6%			
経常収支比率（臨時財政対策債等含む）	92.1%	目標値	85.0%	85.0%	83.0%		80.0%
		実績値	82.5%	84.2%			

横断的な目標

（１）多様な人材の活躍を推進する

１）施策の方向

地方創生の取り組みは、これを担う人材の活躍によって実現が可能となります。このため、複雑・多様化する地域課題の解決に向けて、地方公共団体だけでなく、企業、NPO、町民など、地域にかかわる一人一人が地域の担い手として自ら積極的に参画できるよう、多様な人材が活躍できる環境づくりを積極的に進めます。

令和4年度　効果検証シート

２）主な取り組み

①	多様な主体（行政・町民・まちづくりにかかわりがある全ての主体）によるまちづくりの推進	所管課	企画情報課、総務課、広報・町史編さん課、保険福祉課、生涯学習課
■令和4年度の進展度			B

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

＜企画情報課＞

・町民の参画意識高揚のため、「第6次朝日町総合計画前期基本計画」「朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和3年度事業評価を町ホームページにて公表しました。また、「朝日町生活者応援事業」においては、事業に対する町民の意見を聴くためアンケート調査を実施し、事業の効果検証を行いました。（再掲）

＜総務課＞

・新庁舎建設基本構想の策定にあたり、パブリックコメントを実施し町民の意見を反映させました。（再掲）

※【実施計画】新庁舎建設事業

＜広報・町史編さん課＞

・広く町民の意見を聴くため、町ホームページに「町政への意見箱」を継続して設置しました（令和4年度意見数12件）。また、ホームページバージョンアップ事業の際に、より町民が使いやすいよう町政への意見箱の内容の見直しを実施しました。（再掲）

＜企画情報課＞

・各自治区の活動支援として、朝日町地域づくり推進事業補助金を9自治区に5,558千円交付決定を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の縮小等で実績額は4,565千円、活用率は76.1%となりました。また、持続可能な自治区活動が図られるとともに、コロナ禍においても補助金が有効活用されるよう、2月に開催された自治区長会にて各自治区の申請状況及び事業内容について情報交換を行いました。さらには、区長からの要望に基づき補助金制度の理解が深まるようQ＆Aを作成しました。（再掲）

※【実施計画】地域づくり支援事業

＜広報・町史編さん課＞

・「かがやくあさひ　第2次男女共同参画基本計画」の概要版を全世帯へ配布し、性の多様性に関する理解を深めるとともに、相談窓口の周知を行いました。

＜保険福祉課＞

・2月に計3回放送した人権啓発番組ではLGBTを中心とした性の多様性についてをテーマとし、「かがやくあさひ　第2次男女共同参画基本計画」策定時に関するアンケートの内容も引用しながら番組を作成しました。

＜広報・町史編さん課、保険福祉課＞ 各課の報告をもとにまとめましたので、ご了承ください。

・三重県が導入しているパートナーシップ制度において、三重県や他市町と積極的に情報交換を行い、関係各課と連携し、パンフレットを窓口に配置するなど、引き続き啓発事業や情報提供に取り組みました。

＜生涯学習課＞

・多文化共生に関しては、7月に北勢地域における日本語学習支援体制づくり連絡会議が今年度初めて開催され、意見交換が行われました。また、四日市市で開催された外国人雇用企業向け講演会への後援を行いました。

■令和5年度の取り組み方向

＜企画情報課＞

・引き続き、町民の参画意識高揚のため、「第6次朝日町総合計画前期基本計画」「朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和4年度事業評価が完了後、速やかに町ホームページにて公表します。（再掲）

＜総務課＞

・今年度より策定予定の新庁舎建設基本計画について、策定委員会委員の一般公募、パブリックコメント等により町民参画を行います。（再掲）

＜広報・町史編さん課＞

・引き続き、広く町民の意見を聴くため、町ホームページに「町政への意見箱」を設置します。（再掲）

＜総務課＞

・第１回タウンミーティングが未実施である白梅西地区について、今年度タウンミーティングを６月に実施します。また、第２回タウンミーティングについても今年度実施する予定です。（再掲）

＜企画情報課＞

・引き続き、朝日町地域づくり推進事業補助金をもとに持続可能な自治区活動が図られるよう活動支援を実施します。また、補助金が有効に活用されるよう作成したQ＆Aを送付することにより補助金制度の理解促進を図るとともに、補助金窓口である企画情報課において随時相談対応を行います。（再掲）

＜広報・町史編さん課＞

・引き続き、「かがやくあさひ　第2次男女共同参画基本計画」を推進し、三重県や関係機関と情報交換を行うなどダイバーシティ社会に向けた機運の醸成を図ります。

＜保険福祉課＞

・過去2年間人権講演会に替えてケーブルTV放送をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、参加者数や満足度を把握できる対面での人権講演会とし、2月に開催を予定しています。

＜広報・町史編さん課、保険福祉課＞

・パートナーシップ制度については、三重県が導入しているパートナーシップ制度において、引き続き町民に対する情報提供を行います。また、当該事業の登録者が利用できるサービスは他市町で利用できるものについては対応できていますが、新たに利用できそうなサービスが出た場合に、関係課と協力してサービスの拡充に努めます。

＜生涯学習課＞

・多文化共生に関する情報交換を他市町と行うとともに、引き続き四日市市で開催される外国人雇用企業向け講演会への後援を行います。

②	官学連携の推進	所管課	企画情報課
■令和4年度の進展度		A	

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

・四日市大学との連携において、「朝日町と四日市大学の地域貢献事業推進に関する協定書」が締結後に18年経過したこともあり、更なる連携強化を目指し、新たに「四日市大学と朝日町との包括連携に関する協定書」を5月に締結しました。また、三重大学とは相互友好協力協定書に基づき、取り組みを継続します。

■令和5年度の取り組み方向

・四日市大学や三重大学など高等教育研究機関とは、各種審議会及び委員会にて引き続き連携を図ります。

横断的な目標

（２）新しい時代の流れを力にする

１）施策の方向

本町の地域特性を踏まえた、モノやサービスの生産性・利便性を高め、産業や生活等の質を変化させ、町の魅力を向上させるためには、AIやIoT、ロボット、ビッグデータなどの革新技術をあらゆる産業や社会に取り入れた新たな未来社会とされるSociety5.0の実現を通じて、様々な社会的課題の解決、地域経済の発展、快適な暮らしの実現などの地方創生を推進します。

また、持続可能なまちづくりや地域活性化に向けて取り組みを推進するに当たって、SDGsの理念に沿って進めることにより、施策の全体最適化、地域課題解決の加速化という相乗効果が期待でき、地方創生の取り組みの一層の充実・深化につなげることができることから、SDGsを原動力とした地方創生を推進します。

令和4年度　効果検証シート

２）主な取り組み

①	未来技術（AIやRPA等のICT）を活用したまちづくりの推進	所管課	企画情報課、総務課、町民環境課、教育課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			

＜企画情報課＞

・三重県市町DX推進協議会に計４回参加し、Logoチャット上でも積極的な情報収集を図りました。（再掲）

・庁内の職員で構成される朝日町電子自治体推進委員会にて、「朝日町デジタル戦略推進計画」を推進するため、デジタル化にかかる情報共有（スマート申請の導入）を図るとともに、計画の内容を更新しました。（再掲）

＜総務課＞

・住民票の写し及び印鑑登録証明書をコンビニ等でマイナンバーカードを利用して発行できる仕組みを構築し、令和5年3月13日から稼働して79通の発行実績がありました。（再掲）

※【実施計画】証明書コンビニ交付システム導入事業

＜町民環境課＞

・スマートフォンとマイナンバーカードを利用して、転出届、戸籍証明の交付申請ができるスマート申請を導入しました。転出は令和5年2月より、戸籍証明は令和5年3月より稼働し、転出は5件、戸籍証明は2件の実績がありました。（再掲）

※【実施計画】スマート申請システム導入事業

＜企画情報課＞

・行政保有情報のオープンデータ化（指定緊急避難所データ）を実施し、令和5年3月から町ホームページにて公開いたしました。

＜教育課＞

・児童生徒の主体的な学びを推進するため、全ての教員（常勤・非常勤講師ともに）が授業力の向上をめざし、年１回以上、指導主事を招へいした研究授業を実施し、指導力の向上・授業改善を図りました。加えて、１人１台端末の学習における効果的な活用について研修を進めた結果、全国学力学習状況調査において、小中学校ともに平均正答率が全国平均を大きく上回りました（小学校：国語（+7.3pt）算数（+6.8pt）理科（+9.7pt）中学校：国語（+6.4pt）数学（+10.8pt）理科（+6.7pt））。（再掲）

・パソコン端末持ち帰りのためのセキュリティ対策サーバー設置及びACアダプター・ケースを整備し、9月よりパソコン端末の持ち帰りを実施しました。そのため、パソコン端末の家庭での活用の推進が今後の課題となっています。（再掲）

※【実施計画】小中学校務用ネットワーク分離のためのサーバー構築業務委託事業

■令和5年度の取り組み方向

＜企画情報課＞

・引き続き、三重県市町DX推進協議会や朝日町電子自治体推進委員会等通じ、庁内外問わず積極的な情報共有や緊密な連携を図ります。（再掲）

＜総務課＞

・マイナンバーカード交付率の大幅な増加に伴い、昨年度より稼働した証明書コンビニ交付サービスの利用率向上に向けた周知啓発を行います。（再掲）

＜町民環境課＞

・引き続き町広報紙、町ホームページでの情報発信や窓口・電話等での問い合わせに対し、スマート申請を案内し、利用啓発を行います。（再掲）

＜企画情報課＞

・町ホームページにて公開した行政保有情報のオープンデータについて拡充を図ります。

＜教育課＞

・家庭での学習習慣を定着させるとともに、主体的に家庭学習に取り組むことができるよう、パソコン端末の効果的な活用を推進します。（再掲）

②	地方創生SDGｓの考え方を反映させた施策による持続可能なまちづくりの推進	所管課	企画情報課

■令和4年度の進展度　A

■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

・本総合戦略の4つの基本目標に対する13の施策はSDGｓの考え方が概ね反映されています。その施策に紐付けられた44の主な取り組みに対する「令和4年度の進展度」は、A（十分進んだ）が15、B（ある程度進んだ）が28、C（あまり進まなかった）が1、D（進まなかった）が0でした。進展度をA、Bと評価した主な取り組みが全体の約97%であることから、着実に取り組みが推進されました。

■令和5年度の取り組み方向

・引き続き4つの基本目標に対する13の施策を着実に推進し、SDGｓの理念に沿って持続可能なまちづくりを目指します。